

平成 30 年度

安曇野市「協働のまちづくり講演会」

開催実績及びアンケート結果

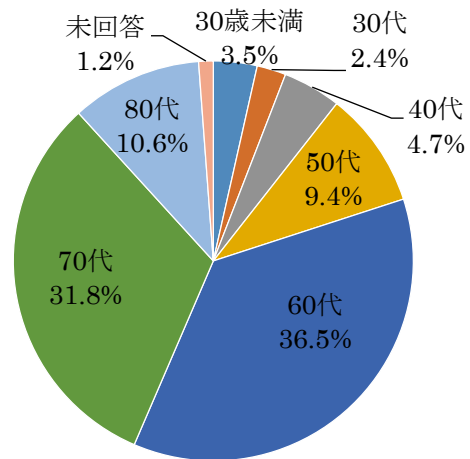
● 開催実績及びアンケート結果（全体）

- 開催日時 平成30年12月15日（土） 午後1時30分～午後3時50分
- 開催場所 安曇野市役所 本庁舎4階 大会議室
- 参加者数 100人
- アンケート回答数 85人
- アンケート回答率 85%

（1）参加者について

①年代

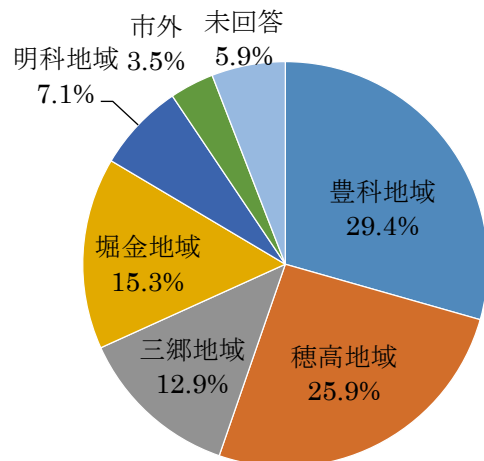
30歳未満	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
3人	2人	4人	8人	31人	27人	9人	1人
3.5%	2.4%	4.7%	9.4%	36.5%	31.8%	10.6%	1.2%



②居住地域

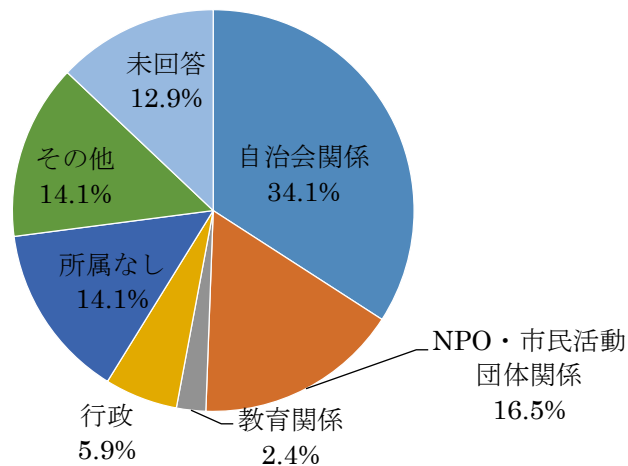
豊科地域	穂高地域	三郷地域	堀金地域	明科地域	市外	未回答
25人	22人	11人	13人	6人	3人	5人
29.4%	25.9%	12.9%	15.3%	7.1%	3.5%	5.9%

※市外・・・松本市（1）、大町市（1）
未記入（1）



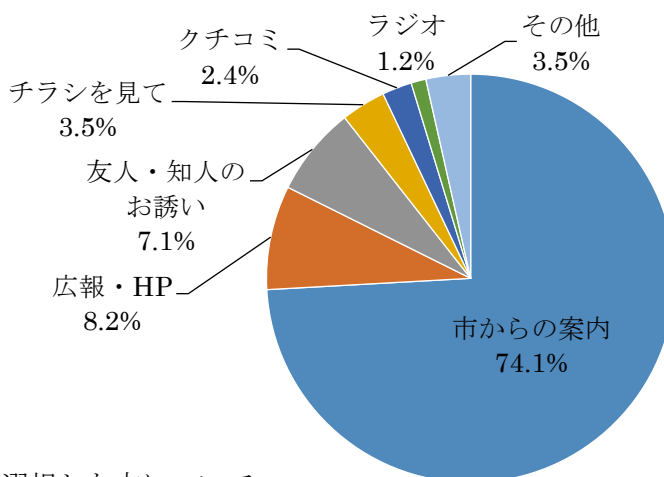
③所属

自治会関係	NPO・市民活動 団体関係	教育関係	行政	所属なし	その他	未回答
29人	14人	2人	5人	12人	12人	11人
34.1%	16.5%	2.4%	5.9%	14.1%	14.1%	12.9%



(2) 参加したきっかけについて

市からの案内	広報・HP	友人・知人の お誘い	チラシを見て	クチコミ	ラジオ	その他
63人	7人	6人	3人	2人	1人	3人
74.1%	8.2%	7.1%	3.5%	2.4%	1.2%	3.5%



※「チラシを見て」を選択した方について

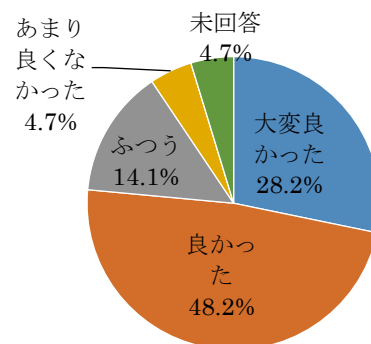
チラシ設置場所・・・図書館（2）、市役所（1）

※「その他」の内訳・・・動員（1）、民児協（1）、新聞を見て（1）

(3) 基調講演について

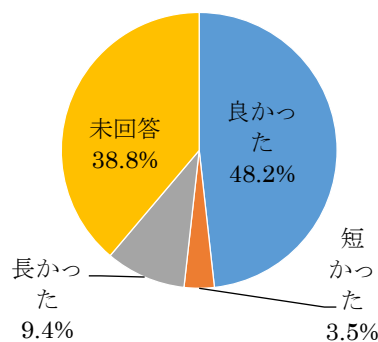
①内容

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	未回答
24人	41人	12人	4人	0人	4人
28.2%	48.2%	14.1%	4.7%	0%	4.7%



②講演時間

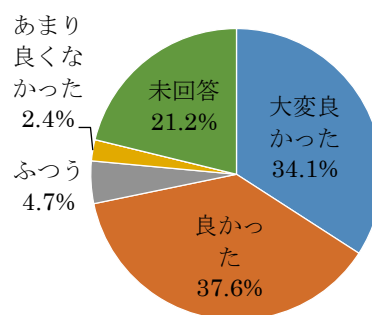
良かった	短かった	長かった	未回答
41人	3人	8人	33人
48.2%	3.5%	9.4%	38.8%



(4) 協働実践事例発表について

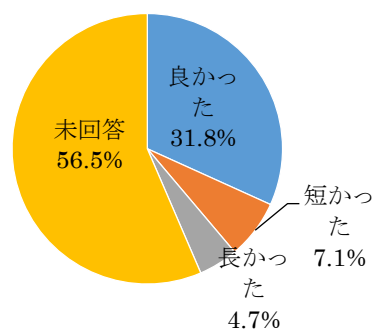
①内容

大変良かった	良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった	未回答
29人	32人	4人	2人	0人	18人
34.1%	37.6%	4.7%	2.4%	0%	21.2%



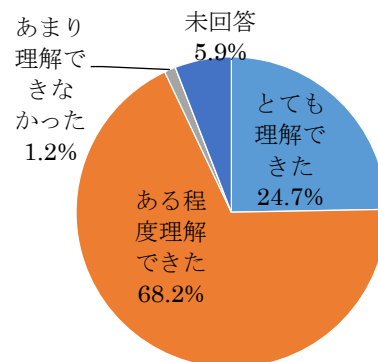
②発表時間

良かった	短かった	長かった	未回答
27人	6人	4人	48人
31.8%	7.1%	4.7%	56.5%



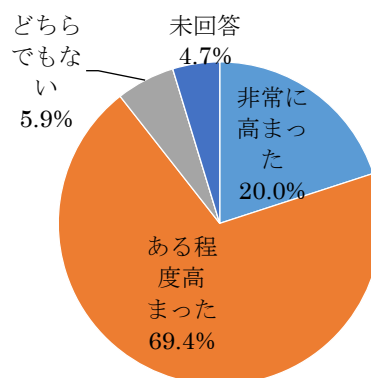
(5) 「協働のまちづくり」への理解について

とても理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	未回答
21人	58人	1人	0人	5人
24.7%	68.2%	1.2%	0%	5.9%



(6) まちづくりへの参画に対する意識・関心について

非常に高まった	ある程度高まった	どちらでもない	高まらなかった	未回答
17人	59人	5人	0人	4人
20.0%	69.4%	5.9%	0%	4.7%

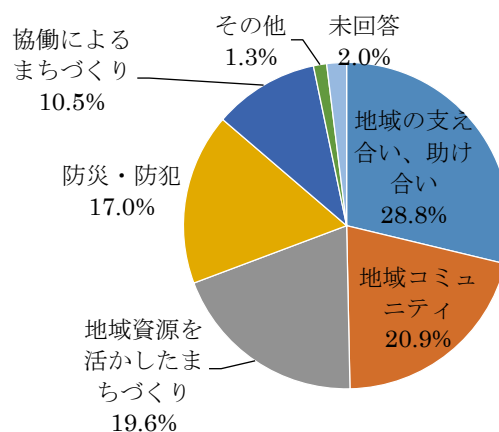


(7) 今後希望する講演会のテーマについて（複数回答可）

地域の支え合い、助け合い	地域コミュニティ	地域資源を活かしたまちづくり	防災・防犯	協働によるまちづくり	その他	未回答
44人	32人	30人	26人	16人	2人	3人
28.8%	20.9%	19.6%	17.0%	10.5%	1.3%	2.0%

※「その他」の内訳・・・

- ・ 自主財源のための産業再生
- ・ 市役所の活動の詳細



(8) 講演会の感想について (抜粋)

○講演会の内容について

- ・講演、事例発表は内容充実していて、大変良かった。
- ・講演をお聞きし、協働の大切さがわかった。
- ・基調講演は、話のポイントがどこなのか、不明確だった。
- ・自分達の事は自分達で、という基調講演での話は理解できたが、それなら日頃どうするのか、災害時はどうするのかのサジェスションはあまりなかったと思う。
- ・基調講演ではいろいろな国、地方の課題がわかり、やるべきまちづくりのあり方についての方向性がよく理解できた。
- ・事例発表はとても参考になった。プレゼンもとても上手だった。
- ・事例発表が大変良かった。企画が良かったが、生徒さんの発表なら尚良かった。
- ・学生との協働は初めて知った。大人に限らないと認識した。
- ・中学生が地域公民館と一緒に防災訓練した実践。他地域でも地域住民とできたらよい（やるべき）。避難所が学校となるので、運営の一角を中学生に担ってもらう必要があるから。
- ・中学の発表は良かった。
- ・アルウィズの事例は具体的なヒントが沢山あり役立った。中学生防災訓練も大変素晴らしかった。継続を！
- ・実践発表もとてもわかりやすく、大変勉強になった。
- ・第2次推進行動計画（案）の話は、まったく分からなかった。ポイントを示して欲しい。
- ・最初のスピーチ（説明）に工夫が必要と思う。

○講演会全体について

- ・バインダーはよかった。とめは上よりもサイドのものが良い。（資料が横をホッチキスでとめているので）
- ・基調講演の資料がほしかった。
- ・限られた時間の中で出かけてきたので、もっと基調講演を聞きたかった。実践ももっと知りたかったので、開会のあいさつなどもっと短くしてほしい。
- ・マイクを持って顔を上げて話して欲しい。言葉のはっきりしないことが有り残念だった。
- ・2次計画（案）の説明が、よく聞き取れなかった。
- ・安曇野市の説明、棒読みで伝わらない。
- ・司会進行をした方の、マイクが悪いのか、何を言っているか全くと言ってよいほどわからなかった。説明も話しも早口で、何か自分だけの文章を下を向いて読んでいただけであった。もっとみんなが理解でき、つかめるような話し方をしてほしい。チェックと反省をおねがしたい。
- ・参加者が少ないのが残念！
- ・各区が主体の活動が必要なのに、区役員をもっと動員させるべき。もっと多勢の出席できるような工夫をお願い。
- ・本日の講演会参加者をもみても中高年が多い。若者が関心をもつように工夫が必要かも…？
- ・木村先生のお話を、もっと多くの人に聴いて欲しい（市の職員を含めて）。
- ・本日の講演概要を、広報で取り上げ市民に周知していただきたい。
- ・協働について、わかりやすい説明があったので理解しやすかった。様々な方の意見が聞けたので、参加して良かったと感じる。協働についての自分なりの考えを深める良い機会になった。

○協働・地域活動について

- ・自分で出来る事は自分で行う事が必要であるが、一人では質量ともに限界があり永続きしない。友があり仲間がいれば良い。その為には区がたよりとなる。区のあり様は大きな課題となる。
- ・協働は生活空間の広がった今、具体的に実行出来る事を考え、実行する人を作る事が難しいと思った。
- ・参加者も区長や民生委員等、自治会の関係者（しかも高齢の人）がほとんど。これでよいのか…と思うが、ではどうすればよいか？と問われても、若い人は忙しい。自分は年齢的に若くはないが、仕事をしていると、日中は家にいない。災害にあう確率も「職場にいる時」が圧倒的に高い。このような人たちがたくさんいることが今の地域の現状。
- ・「協働のまちづくり」言葉の響きは良いが、行政と地域住民との間にはまだ考え方の相違がある。少子高齢化が進み、自分たちが自ら行動しようとしても限界があり、現場は疲弊している。
- ・閉じこもりの方々への呼びかけが難しいと思う。積極的な日常生活、生きがいなどの意識付けが出来ないものか？
- ・まだ知らなければならないことがあるだろうが、知らなさすぎるのと、無知と偏見がありすぎるので、個人情報うんぬんになるのだと思う。質問をどこにぶつけていいのか、相談のやり方がわからない高齢者が多い。
- ・区の役員の皆様も、なるべく長い期間継続して頂くことで、その地域の形ができてくると思うが、地域で活動を続けていくことを「我がこと」として考えて頂くことの難しさを痛感している。

○協働について、自分ができること

- ・「自分達のできる事」を考えてみる。
- ・地区内の企業に協働を求める活動をする。自分達で出来る事を出来る範囲です。
- ・人口減少（若年女性）に関して若い人達の助けになることを色々と考えていきたい。何が出来るか地域でも話し合いたい。個人情報のとらえ方が困難であることが助け合いのさまたげになっている。自分で出来ることは自分で！！
- ・地域の高齢者の独居生活者の見守り
- ・警察、派出所の情報入手・情報を共有して住民見守る。
- ・自分の近く（隣近所、隣組、町内会）での支え合い、助け合うことを行動に移していきたい。
- ・行政に頼れる部分と自分達でやれる事をしっかりしゅん別して、計画・実行（出来る事から）する事が重要である事が良くわかった。

○「協働のまちづくり」に関する市への意見等

- ・いかに市民の多くに周知できるか？各自の責任を明確にしていく必要があると思う。
- ・福祉・自主防災を中心にした町づくりは暗すぎて、若者たちに希望を与える政策で、町づくりを総合的に進めてほしい。
- ・市の職員も市民であることを自覚して対応してほしい（期待）。市民の提案を活かしてほしい。
- ・成果が見えにくい取組だが、一人でも多くの住民が協働を意識できる機会が大切であると思う。
- ・毎日の生活の中で協働は行われている。意識しない中で行われている。こうしたことを市民に理解させることも大切でないか（協働とは何かの理解のために）。
- ・地域活動は今後高齢化にともない、ますます必要となってくる。その際、協働という考えが大事な要素となるので、もう少し話をききたい。